

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	16 東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援・要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-26-2 [規模] 延床面積 4,588.35㎡の内360.52㎡ RC造地上5階地下1階のうち5階の一部 機能訓練室、食堂、休憩室、娯楽室、介護教室、理・美容コーナー
(3)	[委託事業] ①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等） ②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：40名、認知症対応型デイサービス：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）午前8時30分～午後6時15分
(6)	[人員体制] 14名 （内 訳）生活相談員（2）、ケアワーカー（短6）、看護師（1）、その他（アルバイト5） （前年増減）なし

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	6,331,000	6,331,000	6,586,000	6,586,000
	利用料金収入	119,328,000	109,071,429	121,318,000	112,777,419
	その他収入（雑入）	0	0	0	0
	計	125,659,000	115,402,429	127,904,000	119,363,419
支出	人件費	76,696,000	83,046,968	78,147,000	84,671,655
	光熱水費	10,652,000	9,571,106	10,440,000	9,497,040
	維持管理費（委託料・賃借料）	20,810,000	20,161,281	21,153,000	20,598,571
	修繕費	1,950,000	884,870	1,830,000	143,684
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ファイナンス・リース債務の返済支出）	15,551,000	14,629,620	16,334,000	14,259,452
	計	125,659,000	128,293,845	127,904,000	129,170,402
収支			-12,891,416		-9,806,983

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
定員（一般型デイサービス）	人	-	40	40	40
定員（認知症対応型デイサービス）	人	-	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率（一般型デイサービス）	%	-	73.5	71.9	77.3
利用率（認知症対応型デイサービス）	%	-	72	77.6	68.2

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
—

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・事業報告書等の必要書類の提出を適切に行った。新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・職員等の検温、マスク着用、手指消毒の徹底やイベントの中止、外部の方の立ち入り制限等を行っており、全般的に適切な施設運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	一般通所介護において、利用率は目標をほぼ達成したが、認知症対応型通所介護の利用率が減少した。基準配置に応じた人員の内、専門職を配置することで質の高いサービス提供を実施しており、全体的には良好な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常的な清掃に加え、新型コロナウイルス感染防止のため、消毒を実施している。また、感染症対策委員会を毎月開催し、感染者が発生した場合の体制を整えている。月1回の巡視により、危険箇所の把握に努め、施設の維持管理について適切に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設入口の意見箱の活用や通所介護計画作成時におけるカンファレンスにより、要望・意見等を聴取しており、サービスの向上を図っている。利用者満足度調査についても、95%以上の方が、センターでの一日に満足していると回答しており、概ね良好である。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	光熱水費や修繕費等の節減を行う等適正な予算執行に努めたものの、人件費や維持管理費の増により、収支がマイナスとなった。利用率・利用料金収入の向上が求められる。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者満足度調査やカンファレンス(利用者に関する情報共有、課題解決等を目的とした会議)等から利用者の要望を把握し、サービス向上に取り組んでいる。感染症対策についても適切に取られており、全体として良好な運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>一般通所介護の利用率は改善された一方、認知症対応型通所介護の利用率は減少した。収支は改善傾向にあるが、今後も利用者確保に取り組んでいく必要がある。</p>